



うらやす

宇部市立上宇部小学校
学校だより 10月号
令和4年9月22日発行

実りの秋本番

宇部市立上宇部小学校
校長 三輪 孝行

さわやかな季節を迎え、今、実りの秋本番といったところでしょうか。

秋は、“実りの秋”という言葉で代表されるように、自然にとっても人間にとっても充実期です。秋の深まりとともに、スポーツや文化、芸術の深まりを体感できる時期でもあります。

既に実施されている学年もありますが、社会見学や宿泊学習、修学旅行、創立150周年記念式典等、いろいろな行事が計画されています。多くの行事の中で子どもたちは数多くの体験をして、体力・知力・気力を養いながら、たくましい身体や心を育てていきます。

強い身体は体力のある身体であり、食事や運動、そして、規則正しい生活を通してつくることができます。強い心は、時には毅然とした態度がとれたりやさしく人に接したりする行動ができる心であり、それは、相手の立場やおかれている状況をどれだけ推測できるか、想像できるかによって高めることができると考えます。

友だちとのトラブルを解決するために、当事者である子どもに話を聞くことがありますが、その際にしばしば聞かれるのが、このような言葉です。

『あんなことを言わなければよかった』
『そんなつもりで言った訳ではないのに』
『友だちの気持ちを考えることができなかった』
『こんなことになるとは思わなかった』

自分たちが小さかった頃と比べて、最近は推測したり想像したりすることが苦手な子どもたちが増えてきたという話をよく耳にします。

豊かな想像力は、生活を精神的に豊かにします。

そして、豊かな想像力を養うには、読書が最適です。

夜長の季節、読書にふけて想像力を磨き、心優しい上宇部の子を育てたいものです。